

淨土真宗東本願寺派野中山正山寺

盂蘭盆会

八月七日（日曜）午後一時から三時まで

例年通り、盂蘭盆会法要が厳修されます。法要後、ご好評頂いております浅草・緑泉寺の青江覚明先生のご法話があります。是非お誘い合わせの上、ご参詣ください。また、駐車場には限りがありますので、なるべくバスをご利用ください。(以下、バス時刻表)

■町田駅バスセンター発
小山田行

■ 淀野辺駅北口前発 (行き) 十二時十二分
(帰り) 三時 十分

す。これからもどうぞよろしくお願ひ致します。

さて、今回取り上げるのは「田に吉凶はあるか?」。良く「葬式は友引を避ける」「結婚式は大安が良い」などと言われ、お寺に住む私ですらその慣習に乗つてしまつたりしています(笑)。実際に友引の日は火葬場が休みのところ

すね。本来の意味を知ると、迷信であることは明らかなのに、「郷に入つては郷に従え」「多勢に無勢」ではありますんが、それに流されてしまう。良く言えば波風を立てない日本人の奥ゆかしさとも取れますぐ、心中では眞の意味をかみしめ、迷信に惑わされないようにしたいものです。

田に吉凶なんてものは定めること
が出来ないのは明白ですね。そもそも良い日とか悪い日というのは、その人の都合による判断（自分中心の心）によつていかようにも変わります。日常生活の中では、どうして私だけが？というような悪い田も多いことでしょう。（裏へ）

「勝負なき日と知るべし」といわれ、勝負事で何事も引き分けにならぬ日、つまり「共引」とされていたようです。それが「友引」に変化し、現在のような意味となり、「凶事に友を引く」から「葬式は避ける」となったのでしよう。それにしても日本語は難しいで

日日是好日
ふつても
てても
日日是好日
泣いてもわらても
きさうが
一番い日
やだの一生の中の
大事な一日だ
から
す。雨で喜
がりま
す人、晴れ
で喜ぶ人。
つまり、先
の友引では
ありません

が多く、お蔭で友引の前日(先勝)は通夜になりにくいということです、会合や旅行等を先勝の日に設定するなんてことも多くのお寺で行われているようです。

しかし、六曜(六輝とも言う)、すなわち、先勝・友引・先負・仏滅・大安・赤口は、中国の時刻の古いが室町時代に日本に伝わった

中国の雲門禪師の禅語で、直訳すると「毎日が良い日である」となりますね。日本でもよく見かける言葉かと思いますが、中々深い意味があり私も好きな言葉です。

「ひにちにちこれこうにち」
田みつをさん

日日是好日

そこで、その自分の都合による判断を止めて、あるがままを受け入れていく。良寛さんが、「災難に逢う時節には災難に逢うがよくそうろう」と言った境地。この心境こそ、田口是好日に繋がるのではないかでしょうか。大病になつたら、それを受け入れる・・中々難しいことではありますが、あたふたせずにその境遇を受け入れて、その命を精一杯生きることが大事であり、それが周りからどんなに辛いと思える日々であったとしても、その人にとっての好日となるのではないかでしょうか。

総代交代報告

去る3月、総代である旗野

行雄氏が、91歳にてご逝去なされました。ご生前のご厚情に深く感謝申し上げるとともに、正山寺総代としてのご功績を偲び、謹んで哀悼の意を表します。

これに伴い、新総代として旗野洋(ひろし)氏が就任されましたのでご報告させて頂きます。どうぞよろしくお願ひ致します。

正山寺では、月一回(火曜)、皆様との交流の場として、月例会(法話や写経)を行っております。遠慮なくご参加下さい。(無料)なお、初めての方は、電話やメールにてお問い合わせ下さい。



※現在、写仏(写真はお釈迦様)を行っています。日常生活では中々体験出来ないこともあります。

月例会

坊守のコラム

日に日に日差しも強くなつてしましました。今年の夏も体温を超えるような暑さがくるのでしょうか。

皆さん、水分補強をする等、熱中症対策をきちんととして、暑い夏を乗り越えて下さい。お墓参り、お掃除の際も、お気を付け下さい。

また、墓地の植木が延び、通路や隣接する墓地に掛っている箇所が見受けられます。お手数ですが、植木のお手入れ(剪定作業等)も合わせてお願い致します。

さて、息子の大地も、4月から、幼稚園に入園し、早くも三ヶ月。

「行きたくない!」とダダをこねた時もありましたが、幼稚園バスに乗り込み、元気に通園していました。最初のうちは、どんな様子で過ごしているのか全く分からず、親としても心配でしたが、最近は、幼稚園の様子を伝えられるようになつてきました。どうやら給食は、毎回のようにおかわりしている様子。今は、ダンゴムシを探したり、これから時期は、セミやカブトムシなど、昆虫探しに夢中になります。

そうです。お寺の周りには、たくさん昆虫たちがいるのですが、虫が苦手な私には、試練の時期となりそうです。(笑)

あとがき

坊守のコラムでも触っていますが、息子が幼稚園に通い出し、生活が一変しました。お陰でお寺の仕事に専念出来る時間も増えて来ました。ただ、まだまだ遊びたい盛りですので、園から帰つてからはなるべく一緒にいるようにしています。それにしても好奇心旺盛でパワフル・・何気にこちらの体力維持に一役買つています(笑)。

どうか皆様も、自愛下さいませ。

寺報「ほっ寺通信」第10号

正山寺

住職: 藤野慶正(発行責任者)
住所: 〒194-0201
町田市上小山田町1504
電話: 042-797-1446
FAX: 042-797-9233
URL: <http://shousan.net>
メール: info@shousan.net